

2025年4月22日

佐倉市教育委員会
教育長 圓城寺一雄様

市民ネットワーク 松島梢
五十嵐智美
伊藤とし子

大阪・関西万博への修学旅行について、行先の見直しを求める要望書

4月13日、大阪・関西万博が開幕しました。会場である大阪市の夢洲は、ゴミ・浚渫土でできた人口島です。この万博会場下のメタンガスは以前から問題視されており、昨年3月には、メタンガス爆発が発生。開幕直前にも、着火すれば爆発の恐れがある濃度のメタンガスが検知されており、安全面を不安視する声が上がっています。

さらに、会場には橋とトンネルの二つのアクセスルートしかなく、災害時に避難できない可能性があります。広大な敷地のため、移動で長時間歩かなければならない上に、日陰が少なく休憩場所も十分でないことから、子どもたちが熱中症になる危険性も指摘されています。

これらの理由から、学校が生徒の安全性を確保できないこと、保護者から不安の声が上がっていることを踏まえ、修学旅行で万博訪問を取りやめる自治体が増えています。

このような状況の中、佐倉市立中学校2校で修学旅行の行程に万博が入っています。修学旅行は学校行事であり、教育の一環であることから、学校は生徒を危険から保護する義務を負っており、生徒の安全性が確保できない可能性がある万博の訪問は見直すべきであり、下記の事項を要望します。

記

1. 大阪・関西万博への修学旅行について、行先の見直しをすること。

以上